

「ふるさと花山を愛し、地域から学ぶ児童を育てる協働教育」

宮城県栗原市		● 活動名 花山小学校協働教育推進委員会		● 関係する学校名 栗原市立花山小学校	
開始年度	平成 24 年度	学級数	6 学級	児童・生徒数	26 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 3 人	連携団体・企業等	(株)花山サンゼット
ボランティアの数	登録人数 40 人	属性	地域住民、宮城県環境教育リーダー		
参考 URL					
● 連絡先 栗原市立花山小学校		☎ 0228-56-2250			
● 活動の概要・経緯	<p>花山小学校協働教育推進委員会は、平成 24 年 6 月に「花山を愛し、夢や希望に向かって学ぶ児童を育てる協働教育」をテーマに設立された。以来、学校支援ボランティアによる「まるごと自然博物館」や「花山の未来と産業」や「環境整備作業」などへの支援を通じて、地域住民各層が主体的に学校と連携・協働し、地域資源を活用した学びの場を年間 40 回以上提供している。</p>				
	<p>栗原市協働教育推進委員会 ↓ 学校支援ボランティア事業 ↓ 花山小学校協働教育推進委員会 (24名) ↓ コーディネーター会議 ↓ 学校支援ボランティア(約40名)</p>				

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

主な活動は、学習支援、学校行事支援、環境整備活動への支援である。主な内容としては、福祉教育の一環でもある花山小学校「さくら岡まつり」で児童自ら企画・運営を行い、地域の高齢者を招待してお祭りを開催し、出店で遊んだり、地域の方々と一緒にブースで楽しんだりしながら交流を深めている。また、山間地ならではの地域資源を活用した「きのこ栽培」、「林業体験」、「ネイチャーラフト体験」、「沢遊び」、「こんにやくづくり」などを通じて、多くのことを学び、地域への愛着を育てている。

【実施にあたっての工夫】

推進委員会は、地域コーディネーター3名を含む24名で組織し、地元企業、幼稚園、観光協会、食生活改善推進員連絡協議会、婦人会、国立の教育機関などとの連携の下に年2回情報交換を行い、活動の充実に努めている。「協働教育だより」を月1回発行し、活動を地域に知ってもらうよう努めている。地域コーディネーターが中心となって、地域や市内外の講師をつなぎ、活動の充実に努めている。年間スケジュールを年度当初の情報交換会で決定し、積極的にコーディネーターが調整役を担うなど、学校との情報共有に努めている。予算が限られているため、学校支援ボランティア及び地域コーディネーターは無償ボランティアとしている。

● 事業を実施しての効果・成果

へき地1級の小規模校であり、全校児童26人の児童の教育環境の充実のため、地域一丸となって学校行事や授業の支援を行っている。地域コーディネーターが積極的に地域と学校の調整役を担っているため、教職員の負担軽減が図られ、大きな効果を上げている。また、児童の学ぶフィールドが広くなり、地域への理解が深まると同時に、地域住民の連携と多年代の交流促進につながり、地域住民の活力となっている。

● その他

- ・ 地元企業との関わり：(株)花山サンゼット＝地域再生エネルギー、6次産業、ヨガ教室など多角的な事業を展開し、市内外の人材等との地域コーディネーター役を担っている。
- ・ 学校支援＝総合、社会、理科、環境整備、卒業制作などへの協力がある。
- ・ ICT活用＝1年間の活動の様子をパワーポイントでプレゼンテーションをすることへの関わりがある。



はなやままるごと自然博物館・育樹体験・山林の下刈りの様子



はなやままるごと自然博物館・沢遊び・水の流れ体験の様子

ポイント

小規模校であることを強みとして捉え、「小規模校だからこそできること」、「だからこそやらねばならないこと」を地域で一丸となって実践されており、素晴らしいですね。